

JIMGAnews

第32号

JIMGA 平成28年賀詞交歓会を開催



間会長挨拶

1月13日、経団連会館でJIMGA平成28年賀詞交歓会を開催しました。経済産業省、厚生労働省、高圧ガス保安協会、日本医療ガス学会など各種関連団体から来賓を迎え、マスコミ関係者を含めた約430人が参集して盛大に行われました。

はじめに間会長が挨拶に立ち、「去年はTPP交渉の合意、COP21の採択など大きな動きがあった。今後は経済成長と温室効果ガスの排出抑制を両立させた経済活動が不可欠」と述べました。

更に「国内においてはどの業界も一進一退。高圧

ガス業界もピーク時の業績には及ばない」としたうえで、「電力料金の問題についてさまざまな活動をしてきたが、料金自体が高止まりの状況。当業界の果たす役割への理解を得つつ、安心・安全を確立して、産業ガス・医療ガス業界の更なる地位向上を目指したい」と意気込みを述べました。

来賓挨拶では、経済産業省糴谷製造産業局長が再生可能エネルギーの固定価格買取制度について「この制度は国際競争にさらされている産業についての措置。本来の趣旨が損なわれないよう対応したい」とし、そのために「産業界が安心して日本で生産活動を行えるよう全力を尽くす」と述べました。

また厚生労働省神田医政局長は、各都道府県で今年策定される「地域医療構想」について説明し、在宅酸素療法をはじめとする在宅医療の重要性を強調したうえで、「貴協会と連携し必要な医療を患者の皆様へ届けていきたい」と挨拶をしました。

更に高圧ガス保安協会市川会長は安全確保やRFタグによる容器管理におけるJIMGAの先進的な取り組みを評価したうえで、昨今発生した事故等について触れ「危険を予知・分析できるような人材の育成と、世代交代に伴う技術の承継が充分なされるようお願いしたい」と期待を述べました。

今井副会長は乾杯挨拶で、年明け以降の経済状況に触れたうえで、「さまざまな課題を解決する中で、我々は日本の経済にも寄与していきたい」と抱負を述べました。最後は鈴木副会長の中締めで盛況裡に閉会しました。

会長、副会長、来賓、中締めの挨拶は、3月発行の産業ガスレポート春号で詳しくご紹介する予定です。（広報委員会事務局 石原 智子）



会場の様子

会員紹介 ー八戸共同酸素株式会社ー

沿革

八戸共同酸素株式会社は昭和55年に設立され、八戸市八太郎にてガス充填工場の操業を開始しました。創業当初は同一敷地内に旧八戸液酸があり、原料の液化酸素・液化窒素の供給を受けておりました。八戸液酸の移転後は、液化酸素・液化窒素・液化アルゴン・液化炭酸ガスCEを設置し、充填してまいりました。

平成23年3月11日の東日本大震災では、敷地内に1m弱の津波が押し寄せ、充填設備の特に液送ポンプに甚大な被害がありましたが、関係者の皆様のご厚意、ご協力により、震災後4日目には発電機を使用して充填作業を再開することができました。また、当社酸素充填設備には蓄圧設備を保有していたこともあり、緊急での医療向け供給に大いに役立ちました。

新工場設立

震災の教訓を踏まえ、また設備の老朽化対策のため、株主各位の賛同を得て、八戸市街より北西約7kmに位置する八戸北インター工業団地内の東邦アセチレン(株)八戸事業所構内へ移転新築し、平成28年1月12日より操業を開始しました。同構内にはアセチレン充填所の他、容器検査所（北日本アセチレン(株)）、LPG充填所（(株)東燃ホームガスセンター）があり、八戸地区における総合ガス生産拠点となっております。

当社の充填品目は、酸素（工業用・医療用）、窒素(工業用・食添用・医療用)、アルゴン、炭酸ガス（工業用・食添用・医療用）、混合ガスです。今回新工場となり、新たに医療用炭酸ガス、医療用酸素ガス(19.6MPa)を追加しております。

保安・教育および業界とのつながり

無事故、無災害を目指し、JIMGAをはじめ県、協会、製販業である東邦アセチレン(株)の指示のもと、社外講習会へ積極的に参加しています。更に社内でも製造会議を定期的を実施することで、知識および技術の習得を図っています。

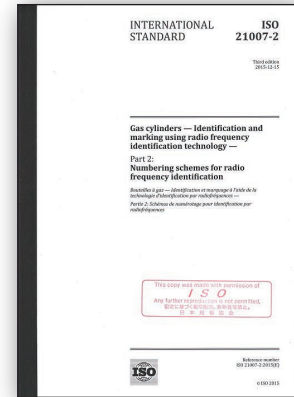


工場外観

(八戸共同酸素株式会社 八戸工場 工場長 下田中 浩一)

JIMGAのRFタグのフォーマットがISO規格になりました

JIMGAではISO/TC58国内委員会を通じて、JIMGAがRFタグに採用している固定長フォーマットをISO規格に取り入れるよう平成23年から取り組んできました。その結果、昨年12月に発行されたISO21007-2:2015（高圧ガス容器—無線自動識別技術を用いた識別と刻印—Part2:無線自動識別の付番方式）にて規格化され、JIMGAのフォーマットも参考規格として掲載されました。



ISO21007-2:2015

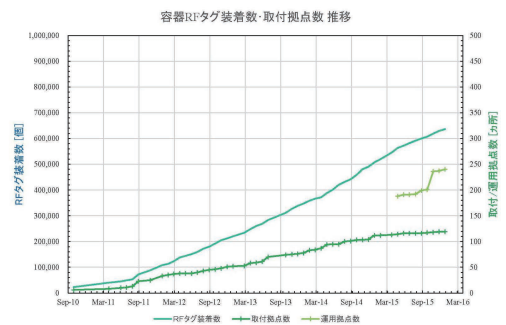
従来の規格（ISO21007-2:2013）では、周波数帯としてHF帯が、データ構造も可変長フォーマットのみが規格化されていましたが、2015年版では、最新のUHF帯の利用を前提に、JIMGAの提案したフォーマットIDとともに固定長フォーマットが規格化されています。

この規格化を機に、国内外の高圧ガス容器を使用するJIMGA以外の事業者にもRFタグが採用される可能性が広がりますので、容器RF運営委員会ではミドルウェアの改修など、普及拡大に向けた準備を行っています。

RFタグの普及状況

容器RFタグは、平成27年12月末現在で64万本の容器に装着され、全国で64社240拠点にて運用されています。

JIMGAは平成28年3月末において310万本の容器にRFタグを取り付けることを目標に、これまで普及に取り組んでまいりましたが、残念ながら目標本数の達成はかなわない見込みです。しかし、RFタグ導入のメリットは確実に理解されており、一定のペースで着実に普及が拡大しています。



容器RFタグの装着数等推移

RFタグ普及促進キャンペーンの終了について

平成26年10月より行っていたRFタグ普及促進キャンペーンは、予定通り平成28年3月31日をもって終了いたします。普及促進キャンペーンでは、残念ながらRFタグによる容器管理の飛躍的な普及は進みませんでした。

容器RFタグ運営委員会では、4月以降の新たな取り組みについて検討しておりますので、準備でき次第ご案内いたします。

平成27年度 容器RFタグ説明会の開催について

容器RFタグ運営委員会では、今年度も普及拡大に向けた説明会を各地域本部にて開催いたします。説明会では、導入された会員会社の生の声などもお届けします。

開催日程は右表のとおりです。皆様、どうぞ最新の情報をお聞きいただき、RFタグ導入の検討をお願いいたします。

平成27年度 容器RFタグ説明会 開催日程

地域本部	開催日	時間	会場
東北	(来年度開催)		
関東	3月4日	14:00~15:30	神田 エッサム本社 3階
東海	2月25日	14:00~15:30	オフィスパーク名駅カンファレンスセンター
北陸	3月7日	13:30~15:30	石川県地場産業振興センター 新館 5F
近畿	2月23日	14:00~15:30	大阪科学技術センター 700号
中国	(来年度開催)		
四国	2月18日	13:00~14:30	ホテルパールガーデン 2階 八栗の間
九州	(来年度開催)		

※詳しくは各地域本部にお問い合わせください。

(容器RFタグ運営委員会事務局 保坂 昭一)

平成27年第3回全国事務局長会議 開催

昨年12月11日に全国事務局長会議を開催しました。会議には各地域本部の事務局長および本部職員が集まり、6つの議題について説明や議論が行われました。(議題は下表を参照)

大震災への対応については、東北地域本部和田事務局長から、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の発生時の状況と対応、震災翌日以降の業務、特に災害時の医療ガス供給協定に基づく医療ガスの調達・供給の確保について、実体験に基づく報告と今後の課題について説明がありました。その中で、重要な点として以下の事項があげられました。

第3回事務局長会議 議題

- (1) 大震災への対応について
- (2) JIMGAにおけるマイナンバーについて
- (3) 情報管理規程の一部改正の件
- (4) MGR教育制度の概要
- (5) 今後のスケジュール
- (6) 表彰制度について

- ・まず自分自身や家族の**安全確保**を最優先し、平常時に事務所や自宅の地震対策に万全を期すこと
- ・**安否連絡**方法を確認しておくこと（携帯電話のショートメール利用、電源確保、徒歩による帰宅・集合場所での安否確認）
- ・**帰宅手段の確保**（帰宅支援用品・運動靴を常備）
- ・**業務再開**に向けた準備（通勤経路検討、通信機器復帰の方法、被災状況報告や医療ガス救護訓練、通信訓練の実施など）

この他、災害時の医療ガス供給について、緊急通行車両標章取得案内の配信、被害状況報告、工業用容器の転用許可取得、医療ガス充填工場への優先復電依頼等について説明されました。

マイナンバーについては、昨年11月30日に開催された理事会において、マイナンバーにかかる特定個人情報等の適正な取り扱いに関する基本方針と特定個人情報取扱規程の制定が承認されたことおよびその概要と、JIMGAでの実務対応について説明されました。また、同じく理事会で承認された情報管理規程の改正内容についても説明がありました。

表彰制度については、平成28年JIMGA表彰を例年通り実施されることが説明され、各地域本部からの表彰候補の推薦について事務局から依頼がありました。(医療ガス部門 鈴木 正晴)

会員連絡のJIMGAウェブサイト掲載について

JIMGAでは行政からの情報を会員連絡として、協会ウェブサイトの会員ページに掲載しています。特に最近では法律や制度改正に関する情報が非常に多く、これらの情報をタイムリーに発信するよう心がけていますので、皆様ぜひ定期的にご覧ください。※会員ページの閲覧にはIDとパスワードが必要です。ご不明な点はJIMGA本部までお問い合わせください。

